令和７年度 人流データ活用事業に係る調達業務　要求水準書

本要求水準書は、「令和７年度人流データ活用事業に係る調達業務（以下「本業務」という。」）について、要求するサービス水準を示したものであり、本業務に関する公募型プロポーザル実施要領と一体のものとして位置付けるものです。

１　業務名

令和７年度 人流データ活用事業に係る調達業務

２　契約期間

契約締結日から令和８年３月 31 日まで

３　業務内容

(1) 人流データを分析・可視化できるダッシュボードを備えたシステムの導入

①データソース

ア　携帯電話の位置情報データ等を活用したものであること。

イ　月間有効ユーザー数が１千万人以上、かつ、各年代ともに十分なユーザー数を確保している等により、掛川城やさんりーななどの本市の主要スポットにおける十分な分析を可能とするデータ量を確保していること。

②構成

ア　ウェブアプリケーションとしログインはＩＤ・パスワード等で管理するものであること。

イ　利用可能なＩＤ数は５以上とし、複数部署で活用することを想定し複数の同時接続が可能であること。

③分析・可視化機能

令和７年度は、アに示す分析・活用及び人流データ分析・活用の本市職員の経験・ノウハウを向上させることを狙いとし、以下に記載する機能や活用方法について、提案を求めるものとします。

ア　令和７年度において想定している分析・活用内容

- ９月～12 月開催イベント（市民向け及び観光客向け）の過年度分析によるターゲット特定や課題抽出等
- 本市を訪れる観光客の属性・滞在時間等の分析によるターゲット特定や課題抽出等
- 防災面での分析・活用

イ　必須機能

以下に記載する機能または代替機能を提案してください。

ｉ）分析対象

- 分析対象のスポットやエリアを任意で指定できること。
- 任意指定ができない場合、本市が指定する 20～30 程度のスポットまたはエリア（本市全体、中心市街地全体を含む）を分析できること。

ⅱ）分析要素

・　時間（月・週・日、時間帯別　等）

・　人数（実数を基に算出した統計学的に有意な推計値とすること）

・　性別・年代

・　居住地（大字単位）

・　滞在時間

・　前後の立ち寄り先

ⅲ）分析方法等

・　本市職員が、ⅰ)及びⅱ)記載の分析対象及び分析要素から任意に条件指定し、隋時データ取得可能であること。

・　分析結果を、グラフ等によりわかりやすく表示できるものであること。

・　取得データは過去１年以上遡ることが可能であること。

・　取得データをCSV形式でダウンロードできること。

・　取得データを活用した資料を、記者発表や市ＨＰへの掲載等により、本市が外部提供することが可能であること。

ⅳ）個人情報やプライバシーへの配慮

・　個人情報や少人数の秘匿処理を行う等、個人情報やプライバシーに配慮した取得と提供を行うものであること。

ウ　分析・活用方法の提案

「ア　令和７年度において想定している分析・活用内容」に記載する内容ごとに効果的・効率的な分析・活用方法を提案してください。

エ　追加提案機能

本市の狙いを鑑みつつ、より効果的またはより効率的な分析・活用ができる追加提案機能を積極的に提案してください。ただし、提案する追加機能も見積書に提示する金額に含むものとします。

(2) 伴走支援の実施

本市職員が当該システムにより人流データの分析・活用を行うにあたり、伴走支援を行うこととし、具体的な内容を提案してください。

なお、想定している内容は以下の通りです。

① 人流データ分析・活用手法紹介（一般職員向け）

② システム操作研修（人流データ分析担当職員向け）

③ システムに係るヘルプデスク対応

④ ３(1)③ア記載の分析実施時における助言

⑤ 本市における人流データの更なる利活用に向けた検討に対する助言

４　その他

・　この要求水準書に定めのない事項に関しては、協議の上決定するものとします。